

個人投資家向け会社説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

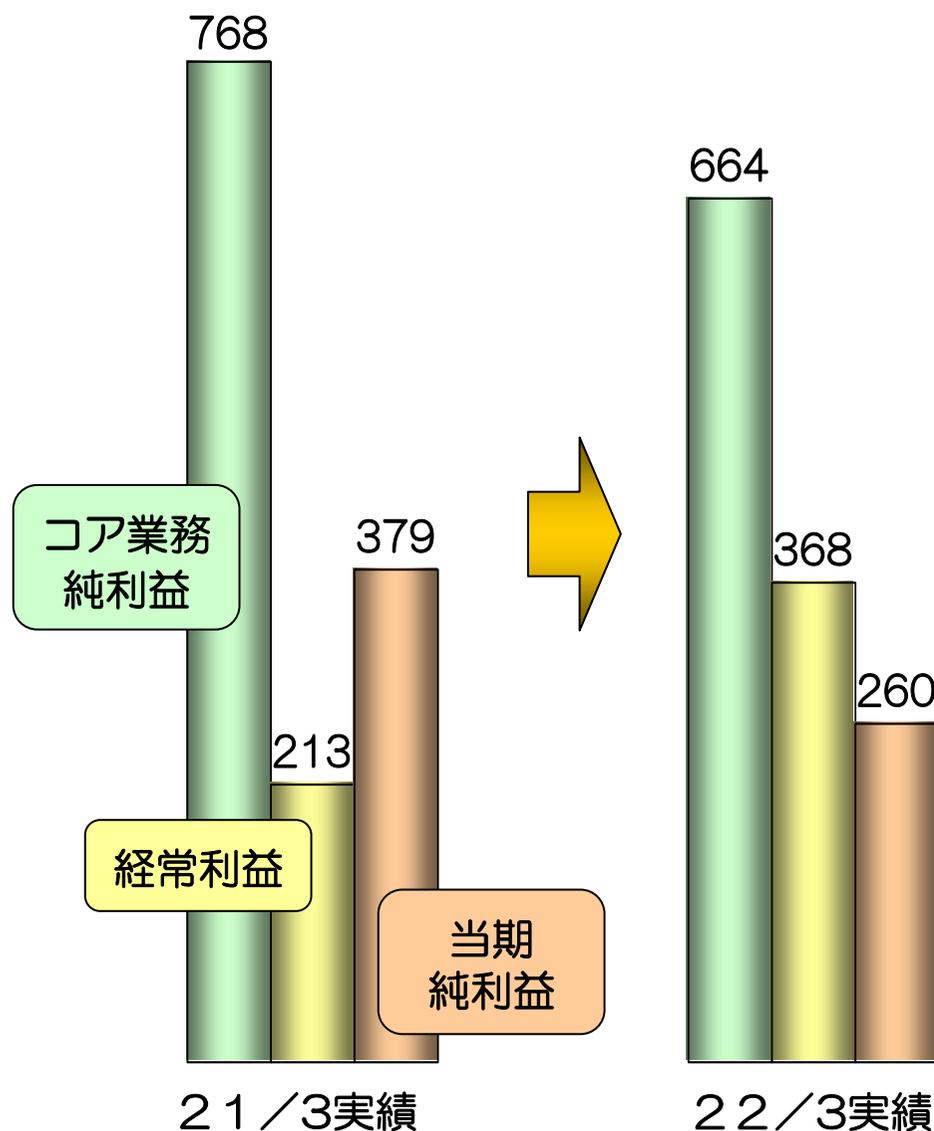
(東証1部、札証 証券コード:8377)

平成22年6月

22年3月期決算概要

22/3期決算概要～損益状況

【収益状況】 <2行合算> (億円)



22/3期は減収・増益決算

<FG連結 22/3期実績(前年度比)>

経常収益 2,267億円 (▲128億円)

経常利益 354億円 (+140億円)

当期純利益 192億円 (▲178億円)

<2行合算>

コア業務粗利益1,609億円 (▲74億円)

コア業務純利益 664億円 (▲103億円)

粗利益減少

利鞘縮小, 役務・その他業務利益減少

経費増加

システム更新投資、人材投資

経常利益 368億円 (+155億円)

与信費用減少 (100億円改善)

有価証券損益改善 (179億円改善)

当期利益 260億円 (▲118億円)

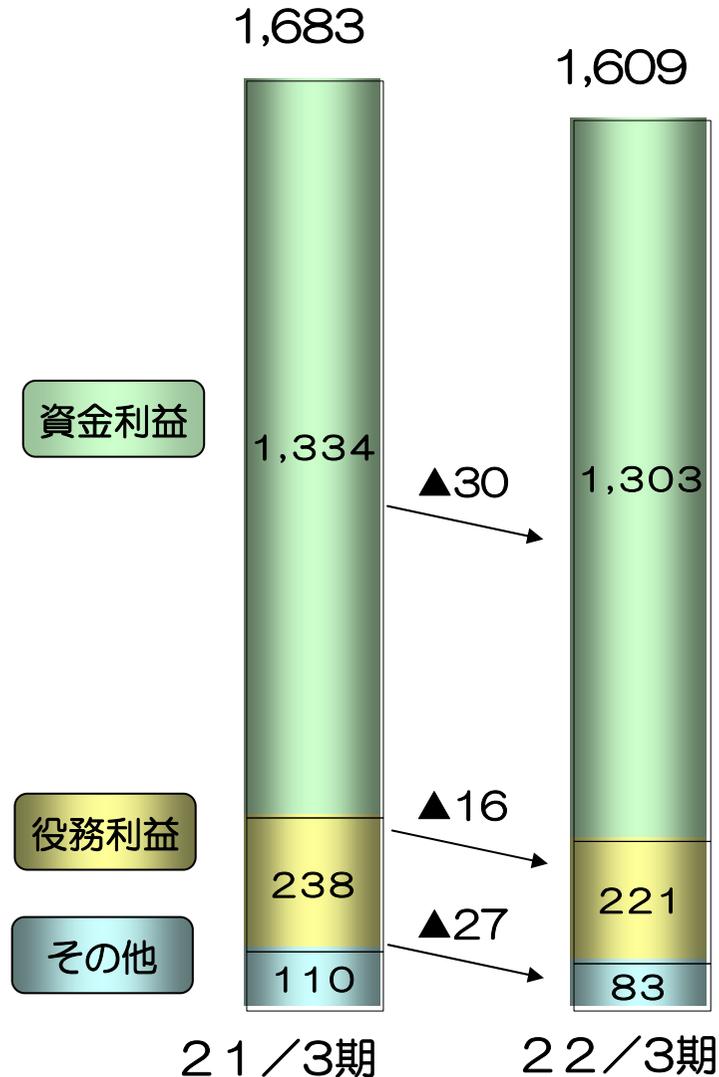
前期は子会社清算決定にともなう法人税

等調整金減少の影響あり

22/3期決算概要～コア業務粗利益

【コア業務粗利益】 <2行合算>

(億円)

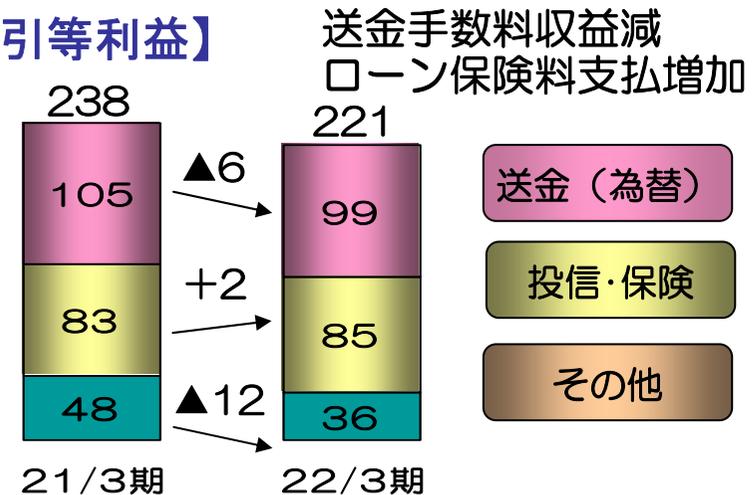


前年度との比較

【資金利益】 国内部門 前年比▲20億円減少
(利回り低下を残高増で一部補完)

(億円)	残高増加	利回り低下	利息
貸出金	+286	▲0.14%	▲94
有価証券	+1,268	▲0.01%	+11
預金	+2,982	▲0.08%	▲65

【役務取引等利益】



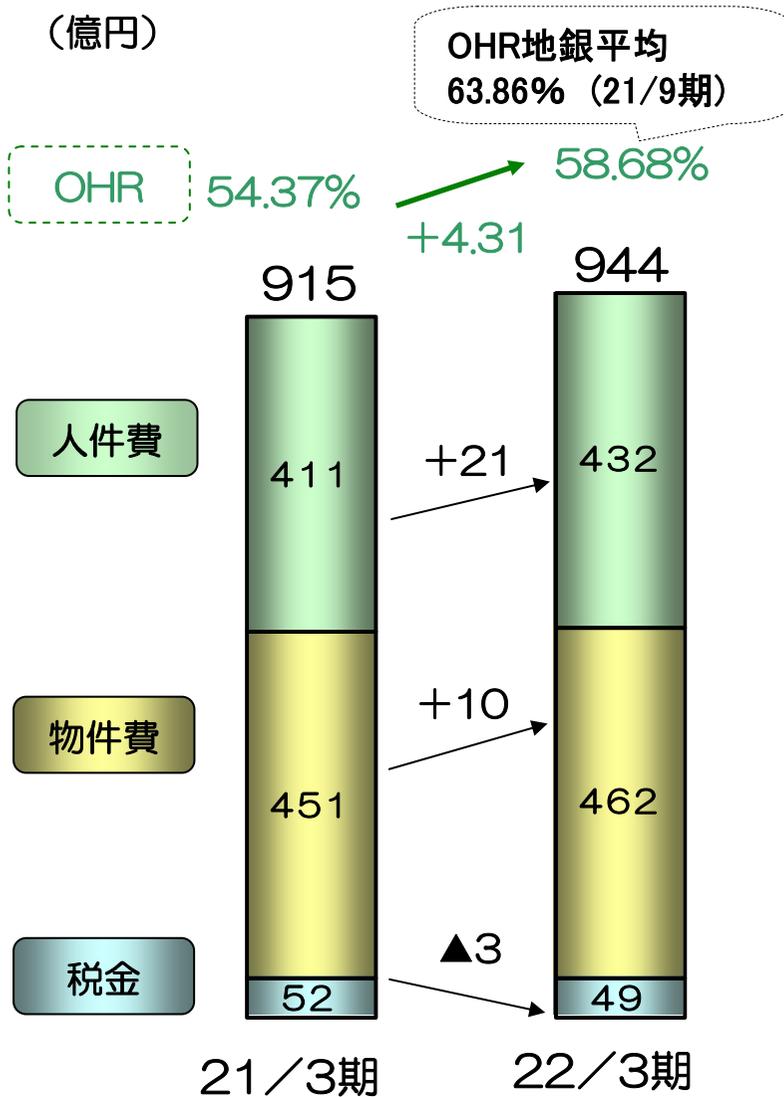
【その他業務利益】

外国為替売買益	65	→	41 (▲23)
金利派生商品収益	30	→	27 (▲3)

22/3期決算概要～経費

【経費（除く臨時処理分）】 〈2行合算〉

(億円)

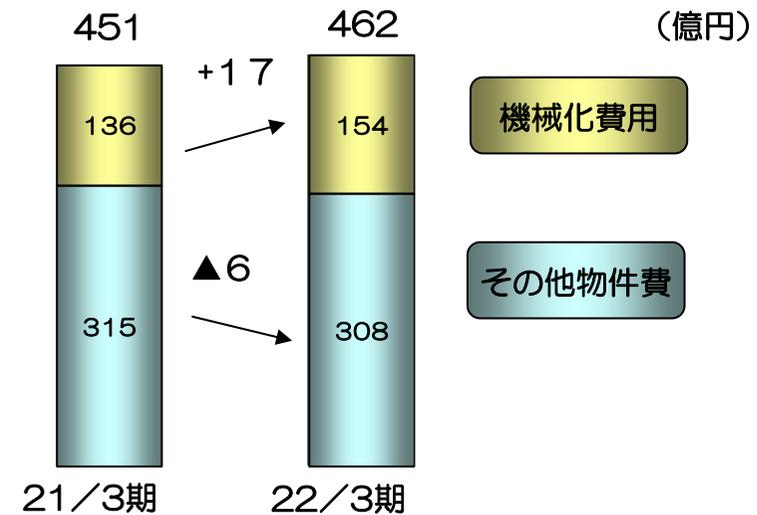


前年度との比較

【人件費】 採用増加、契約社員の正社員登用

期末従業員数 (人)	21/3末	22/3末	差異
北陸銀行	2,568	2,611	+43
北海道銀行	1,790	1,910	+120
合計	4,358	4,521	+163

【物件費】 新システム投資費用増加



OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

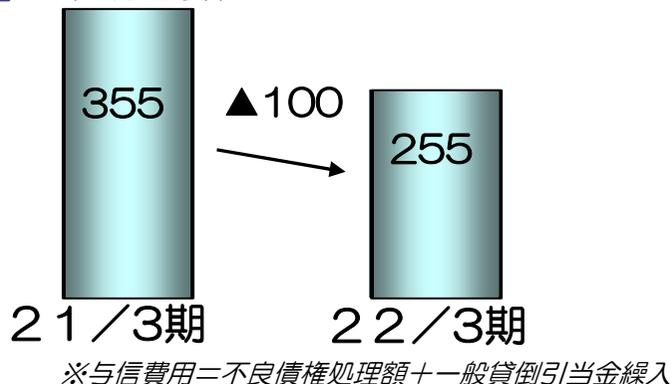
22/3期決算概要

与信費用・不良債権
有価証券関係損益・評価損益



- 与信費用は100億円減少。開示債権比率は3%を下回った。
- 有価証券損益は179億円改善。有価証券評価損益は評価損を解消。

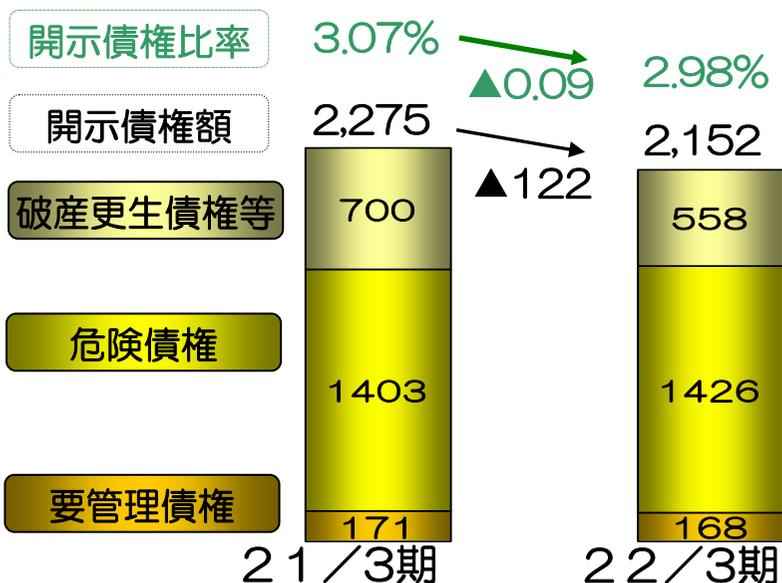
【与信費用】 <2行合算>



【有価証券関係損益】 <2行合算> (億円)

	21/3末	22/3末	差異
国債等 関係損益	▲25	20	+45
株式等 損益	▲151	▲17	+133
有価証券 関係損益	▲176	2	+179

【金融再生法開示債権】 <2行＋分割子会社>



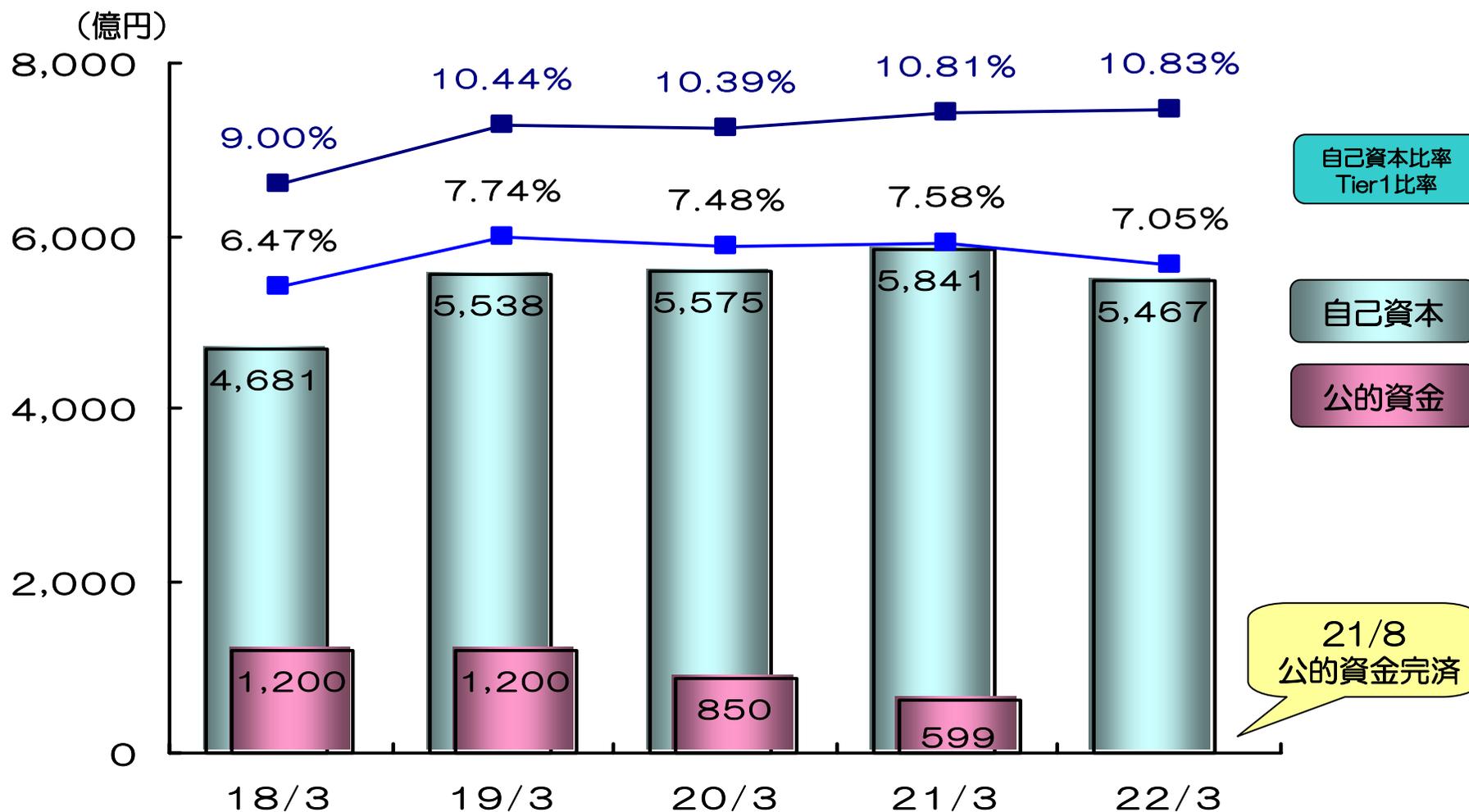
【その他有価証券評価損益】 <2行合算>

	21/3末	22/3末	差異
株式	▲8	61	+70
債券	▲35	193	+228
その他	▲137	▲38	+99
合計	▲182	216	+398

22/3期決算概要～自己資本比率

➤ 22/3期は公的資金599億円を返済し、自己資本比率は前年並み水準

【自己資本比率・公的資金残高の推移（FG連結）】



22/3期決算概要～子銀行業績

【収益状況】（各行）

（億円）

経常収益
コア業務粗利益
経費
コア業務純益
有価証券等関係損益
与信費用
経常利益
当期純利益

北陸銀行	
22/3期	21/3期比
1,137	▲ 105
901	▲ 46
518	4
383	▲ 50
▲ 24	101
134	▲ 80
199	111
156	▲ 107

北海道銀行	
22/3期	21/3期比
937	▲ 5
708	▲ 27
426	24
281	▲ 52
27	77
120	▲ 20
169	44
103	▲ 10

<北陸銀行>

コア業務粗利益（前年比▲46億円）

資金利益減少、外為売買益減少

経費（同+4億円）

採用増加、スタッフ直接雇用化

経常利益（同+111億円）

与信費用減少

株式等の減損処理減少

当期利益（同▲107億円）

前期は子会社清算で法人税等調整額が減少

<北海道銀行>

コア業務粗利益（前年比▲27億円）

資金利益低迷、為替・投信手数料減少

経費（同+24億円）

増員、新店舗、システム投資

経常利益（同+44億円）

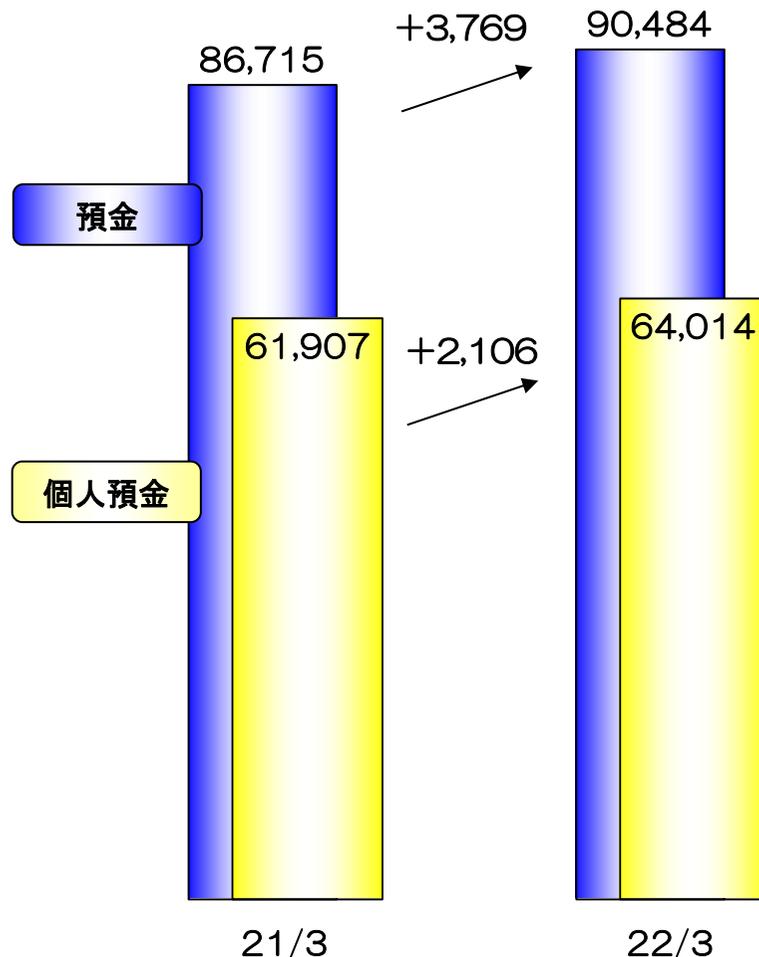
与信費用減少、国債等債券損益増加

当期利益（同▲10億円）

22/3期決算概要～預金

➤個人預金の増加を主因に、預金は前年度末比3,769億円増加

【預金】 〈2行合算〉 (末残、億円)



多様な資産運用・借入相談にお応えする新型店舗

【北陸銀行】



ほくぎんドリームセンター武蔵

【北海道銀行】



本店パーソナルラウンジ
パーソナル支店
(屯田、あいの里、宮の森)

「宝くじ付き定期預金」 (北海道銀行)

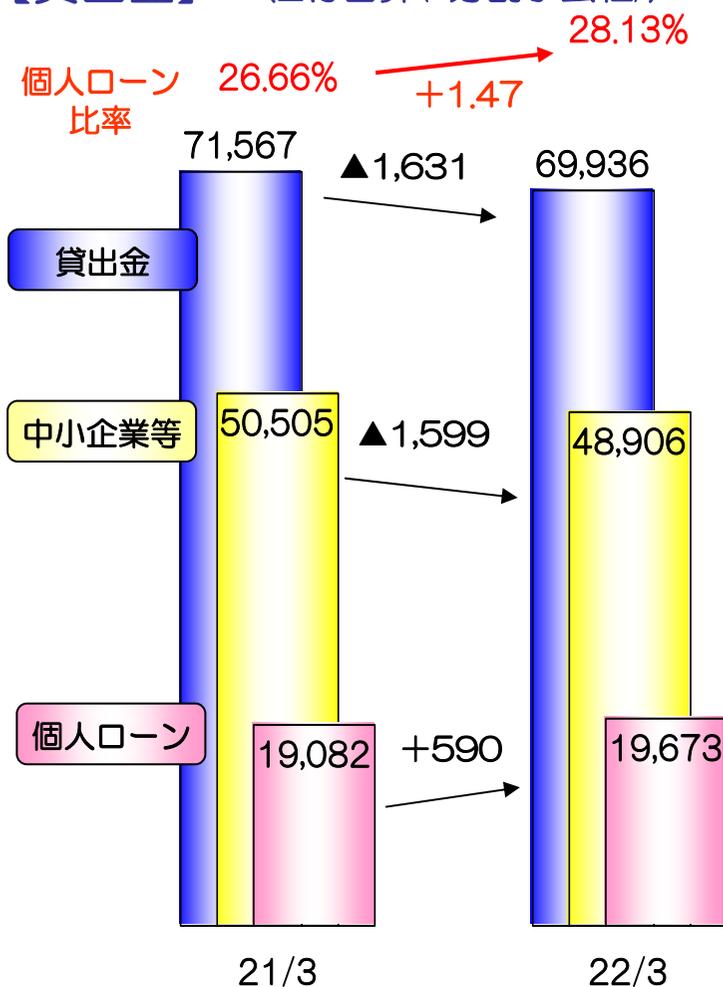
- 19年年末ジャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年サマージャンボ宝くじ
1等前後賞 3億円
- 20年年末ジャンボ宝くじ
2等 1億円
- 21年年末ジャンボ宝くじ
1等 3億円



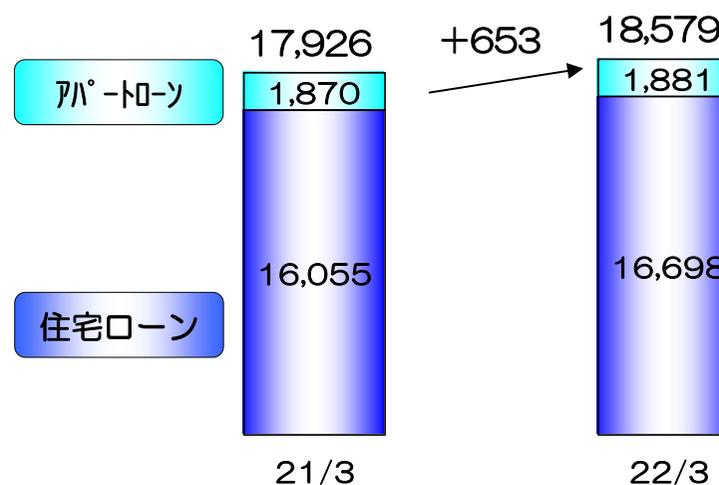
22/3期決算概要～貸出金

- 貸出金は前年度末比1,631億円減少。
 - 個人ローンは住宅系ローンを中心に前年度末比590億円増加。
- (末残、億円)

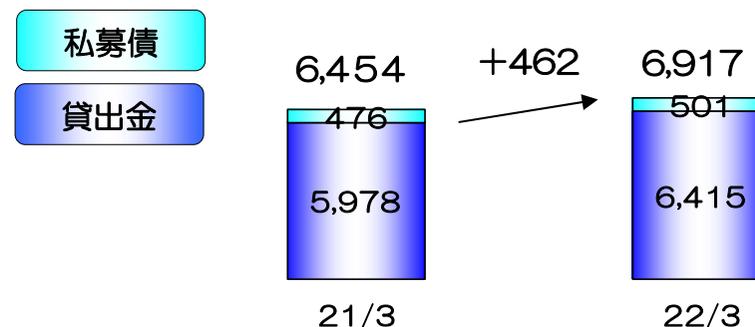
【貸出金】 <2行合算(+分割子会社)>



【住宅系ローン残高の推移】 <2行合算>

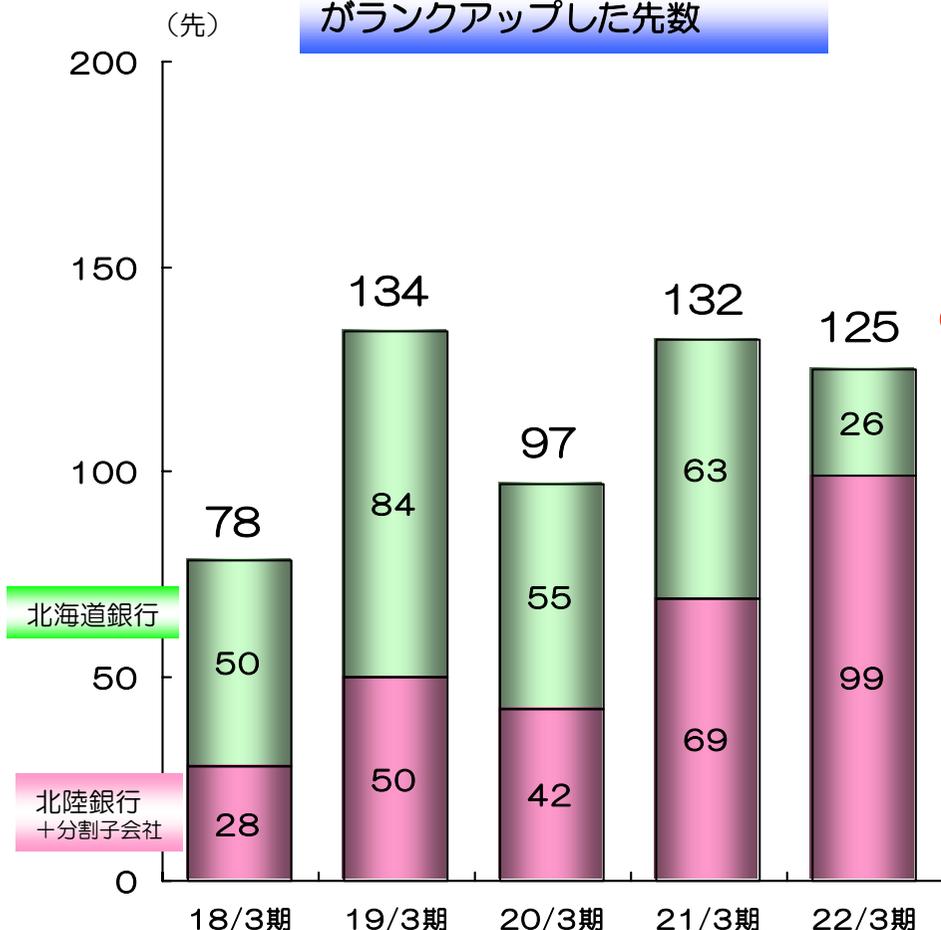


【保証協会保証付貸出の推移】 <2行合算+分割子会社>

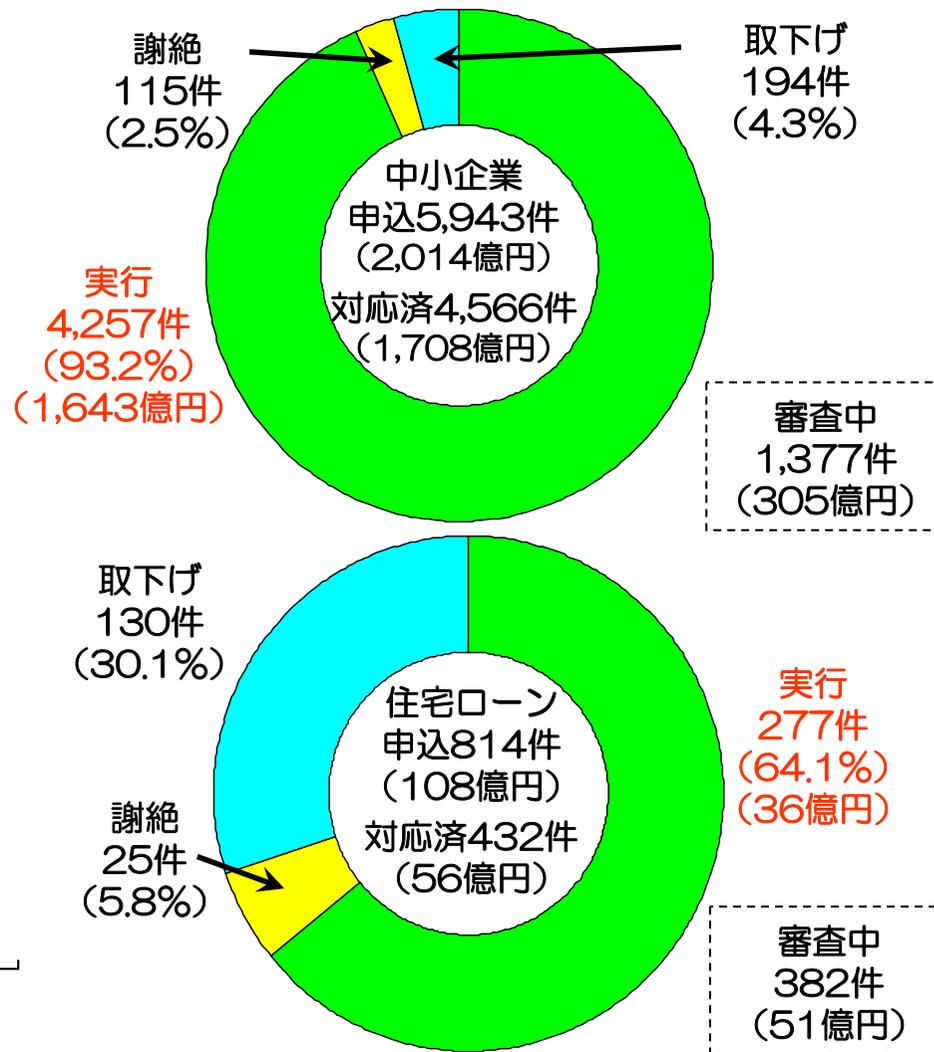


経営改善支援の取組成果

経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数



金融円滑化対応実績 (21年12月～22年3月、2行合算)



※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

～地域社会とともに～ CSR（企業の社会的責任）

「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

金融教育



エコノミクス甲子園



次世代経営者養成講座

環境



太陽光パネル、LED看板
（金沢問屋町支店新築）



環境キャラクター
えころDo



道銀の森

地域密着



YOSAKOIソーラン祭り
北海あほんだら会&ほくほくFG



金沢・百万石まつり



ライラックコンサート



まちづくり計画との連携
（てるてる亭）

業績予想

利益予想 (億円)

ほくほくFG連結	中間期	通期	22/3期比
経常収益	1,050	2,110	▲ 157
経常利益	140	320	▲ 34
当期純利益	80	175	▲ 17

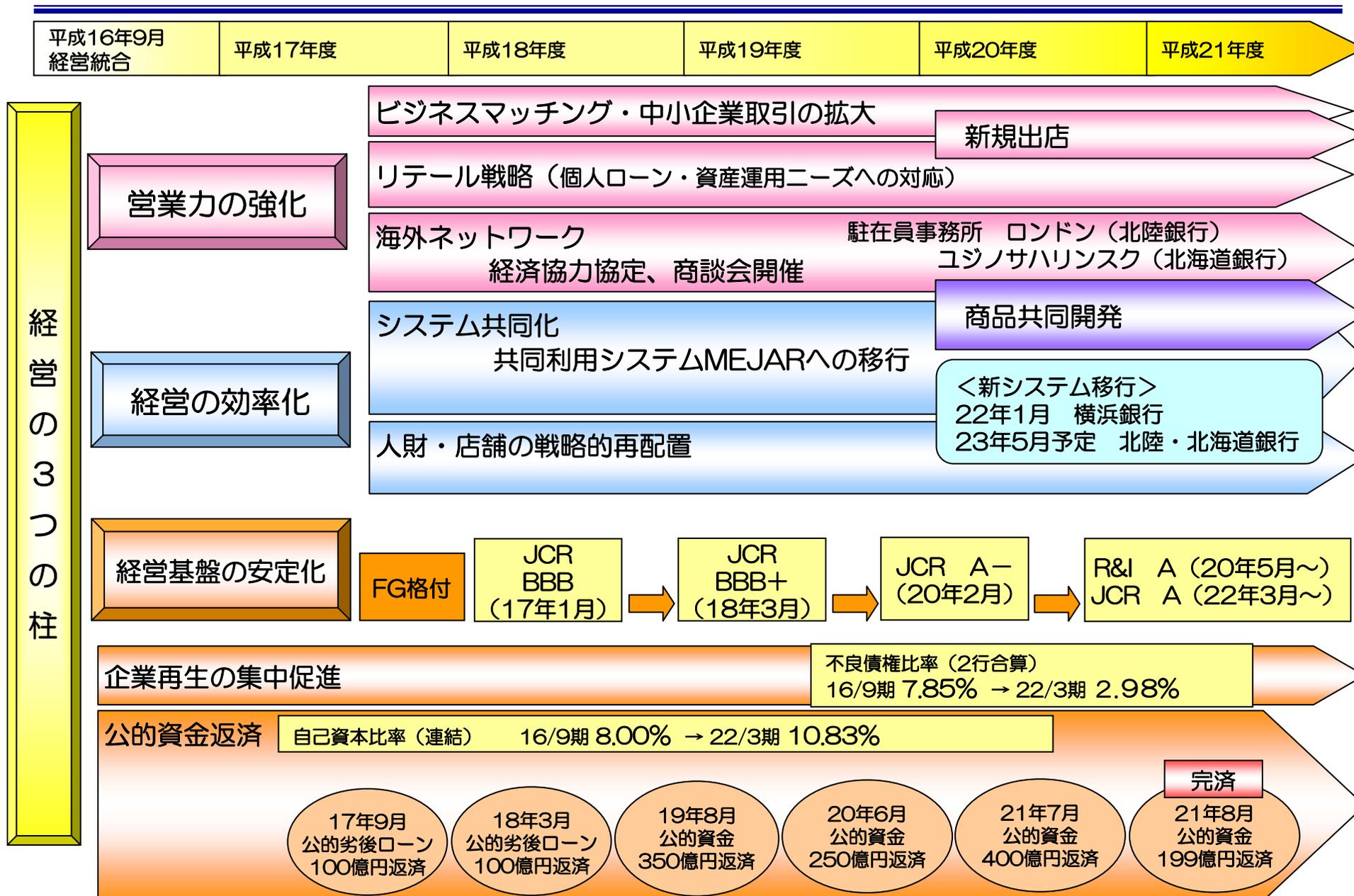
2行合算	中間期	通期	22/3期比
経常収益	965	1,940	▲ 134
コア業務粗利益	785	1,585	▲ 24
経費	480	960	15
コア業務純益	305	625	▲ 39
与信費用	130	240	▲ 15
経常利益	150	335	▲ 33
当期純利益	90	200	▲ 60

配当予想

	中間	期末	通期	22/3期比
普通株式	0円00銭	3円50銭	3円50銭	—
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	—

中期経営計画 “Road to 10”

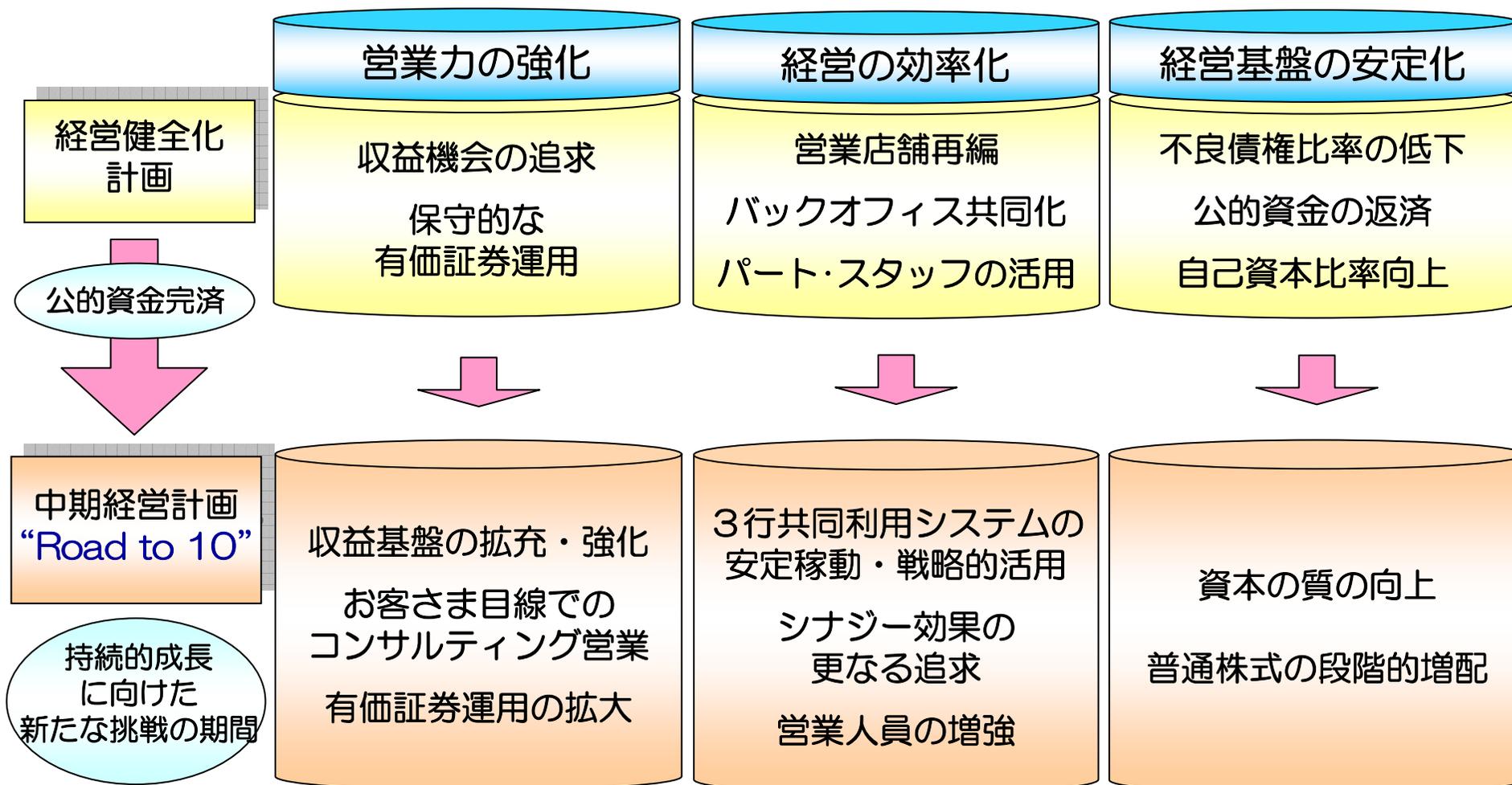
これまでの経営戦略



名称	中期経営計画 “Road to 10”
期間	3年間（平成22年4月～平成25年3月）
位置付け	持続的成長に向けた新たな挑戦の期間
目指す グループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
取り組む 課題	<ol style="list-style-type: none">1. 不透明な経済環境に対応できる安定的収益基盤の構築2. 3行共同利用システム安定稼動・戦略的活用と人員・店舗の営業インフラ整備3. 新自己資本比率規制、増配、民間優先株償還に向けた剰余金積上げ

計画の基本方針

- 経営の3つの柱「**営業力の強化**」「**経営の効率化**」「**経営基盤の安定化**」を更に進め、公的資金完済後の経営ステージにあわせた施策を展開する。
- **預金量10兆円**へ向けた足固めの期間と位置づける。



営業力の強化

➤ “トリプルR” の実践により、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指す

Retail ～親しまれる～

取引先数拡大と取引多面化・メイン化推進
顧客セグメント別マーケティング
法人：スモールビジネス取引拡大（マル保など）
個人：住宅ローン推進・給振・年金振込先の増強

Relation ～頼りにされる～

活発なソリューション営業の展開
顧客ライフサイクル別ソリューション営業
法人： 創業 → 成長 → 事業拡大 → 事業承継
個人： ライフステージ別相談
本部PB（プライベートバンキング）チーム
海外駐在員事務所活用

Region ～地域密着～

顧客利便性を考慮した店舗機能の提供
店舗の戦略的再配置（形態変更・移転）
ビジネスセンター、相談専用ラウンジ
企業誘致、産学官連携、CSR
地域の成長業種支援（農業、医療、環境）

戦略的人員配置
行員渉外能力の向上
グループ内人材交流によるノウハウ共有

アライアンス強化
グループ会社活用（ほくほく債権回収）
他行・信金信組、コンビニ等との連携

営業力の強化 ～海外ビジネス支援

▶ アジア・極東ロシアの成長を取り込み、地域経済の活性化を図る

環日本海を中心に位置し、地銀随一の充実したネットワークを活用

情報提供力の強化

外銀等との提携
中国銀行、交通銀行
台湾FISC社
タイ・カシコン銀行
ベトナム銀行
スタンダードチャータード銀行
インドステイト銀行
ロシア連邦外国貿易銀行
ドイツ銀行

海外の行政機関との協定



サービス提供力の強化

台湾キャッシュカード
北海道で利用可能

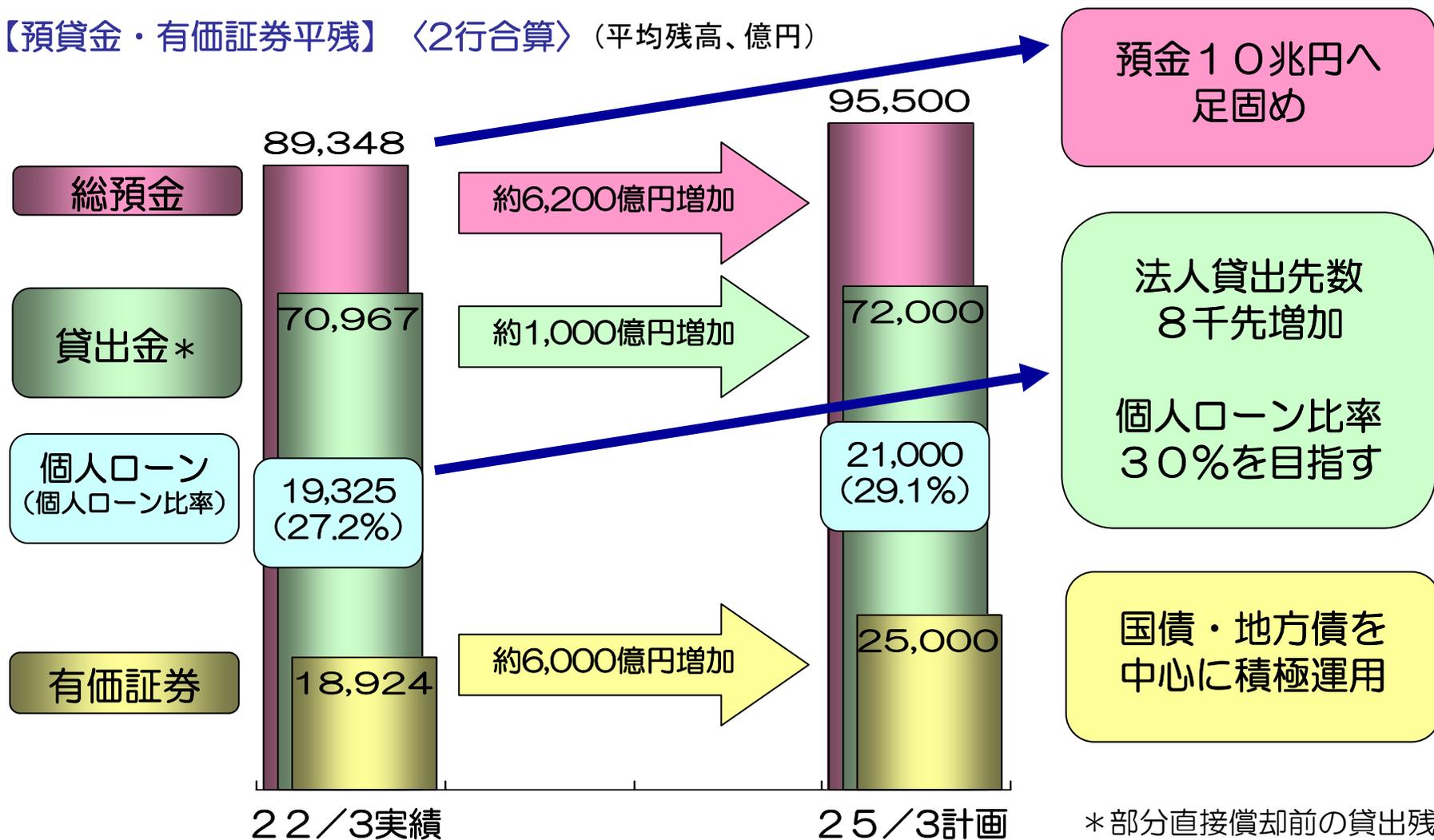
現地通貨（ルーブル）
による為替機能

商談会・セミナー
開催活発化

営業力の強化 ～預貸金・有価証券計画

- ▶ 取引先数の増加と取引メイン化の推進により預金10兆円への足固め
- ▶ 法人貸出先数の増加と個人ローン増強により貸出金を積み増し
- ▶ 有価証券は国債・地方債を中心に積極運用

【預貸金・有価証券平残】〈2行合算〉（平均残高、億円）

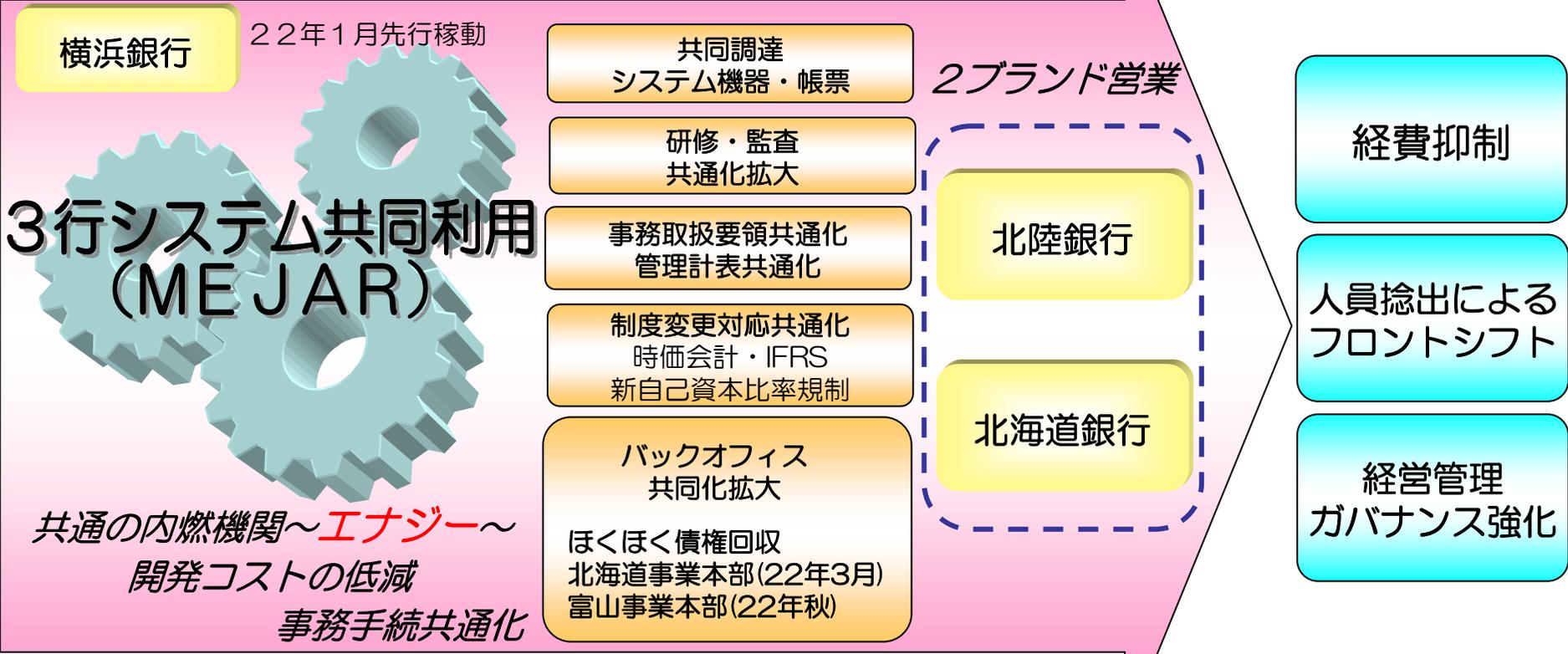


3行共同利用システム

➤ 3行共同利用システムの安定稼働・戦略的活用

23年5月稼働開始

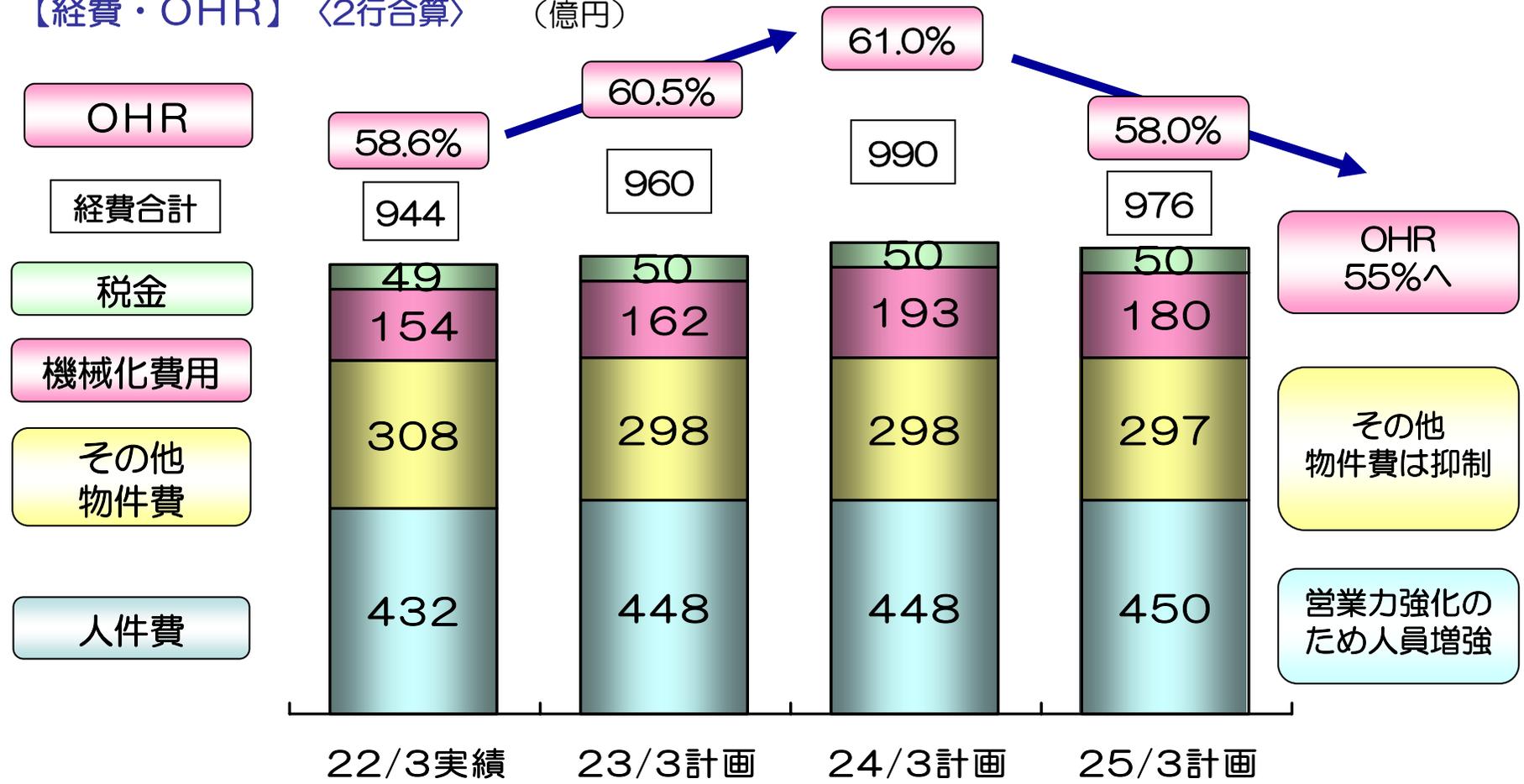
シナジー効果の加速



経費・OHR計画

▶ 23年5月 3行共同利用システムへ移行 ⇒ 経費は24/3期にピークアウト
 ▶ OHRは 58.0% (25/3期) を経て、55%へ (28/3期)

【経費・OHR】 <2行合算> (億円)



OHR 55%へ

その他物件費は抑制

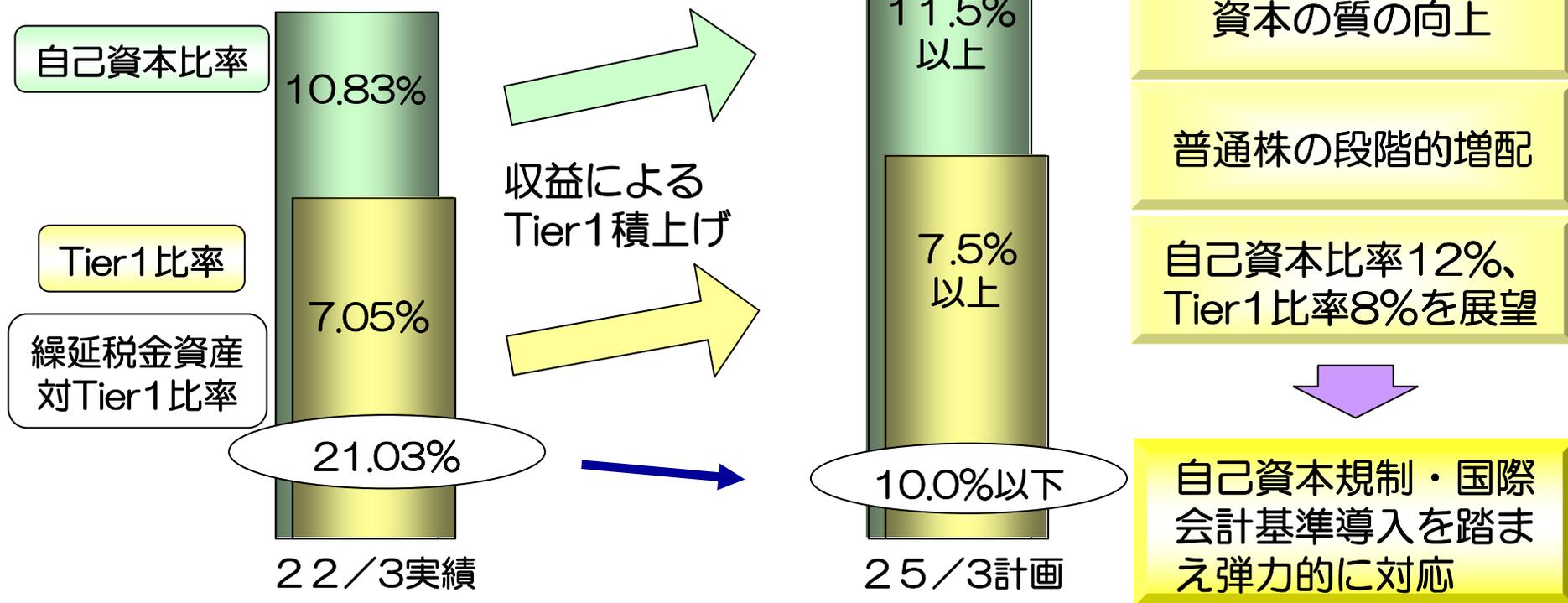
営業力強化のため人員増強

OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益

資本政策

▶ 収益の積上げにより資本の質の向上を図る

【自己資本比率・Tier1比率】 〈FG連結〉



普通株式 配当の実績・予想

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度予想
年間配当	1円50銭	2円	2円50銭	3円	3.5円	3.5円

- ▶ 社会的責任・コンプライアンスを意識した施策を展開
- ▶ ステークホルダーには公的資金導入中の支援に感謝し、良好な関係を維持・発展させる

【株主】

株主とのコミュニケーションの充実

- ・ IR活動の充実
個人投資家説明会
- ・ 株主総会
株主総会の開催（富山・札幌）
- ・ 情報開示
ディスクロージャー誌の充実

【お客さま】

CSの向上と顧客保護の徹底

- ・ CS向上活動
マナー研修、両行店頭相互観察
- ・ お客さま相談体制の強化
金融円滑化窓口
- ・ 顧客保護の徹底

地域共栄

【従業員】

従業員満足を高める雇用環境の整備

- ・ 若年層、女性、高齢者活用
- ・ ワークライフバランス
（育児支援、介護支援）
- ・ コミュニケーション重視の職場風土作り
- ・ 能力開発支援
海外・行外研修、マネジメント教育

【社会】

地域社会への貢献、企業市民としての活動

- ・ 金融教育
次世代経営者養成講座、寄付講座など
- ・ 芸術・文化活動
- ・ 環境保護活動
植樹、太陽光発電対応店舗

主要計数計画

【2行合算計数計画】

22/3末実績

総預金 平均残高	8兆9,348億円 陸 5兆1,587億円 道 3兆7,760億円
貸出金 平均残高*	7兆967億円 陸 4兆2,036億円 道 2兆8,930億円
コア業務純益	664億円 陸 383億円 道 281億円
当期純利益	連結 192億円 陸単体 156億円 道単体 103億円
OHR	58.68% 陸 57.48% 道 60.21%
不良債権 比率	2.98% 陸 3.42% 道 2.32%
自己資本 比率	連結 10.83% 陸単体 10.80% 道単体 10.19%



25/3末計画

9兆5,500億円 陸 5兆5,000億円 道 4兆 500億円
7兆2,000億円 陸 4兆1,800億円 道 3兆円
700億円 陸 400億円 道 300億円
連結 255億円 陸 160億円 道 120億円
58% 陸 57%台 道 59%台
3%程度 陸 3%台維持 道 2%台維持
連結 11.5%以上 陸 12% 以上 道 10.5%以上

* 部分直接償却前の貸出残高

業績の推移

(単位：億円)

(ほくほくFG連結)	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期
経常収益	2,409	2,422	2,612	2,396	2,267
経常利益	482	700	663	213	354
当期純利益	268	406	386	370	192
自己資本比率	9.00%	10.44%	10.39%	10.81%	10.83%

(2行合算) ※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は十分割子会社ベース

コア業務粗利益	1,802	1,813	1,785	1,683	1,609
経費	885	879	899	915	944
コア業務純益	917	934	886	768	664
有価証券等関係損益	69	▲ 15	▲ 6	▲ 176	2
与信費用	466	262	255	355	255
経常利益	506	701	650	213	368
当期純利益	291	393	390	379	260
ROA (コア業務純益ベース)	1.01%	1.03%	0.95%	0.80%	0.68%
OHR (コア業務粗利益ベース)	49.12%	48.49%	50.36%	54.37%	58.68%
貸出金 (末残)	67,062	68,397	68,976	71,567	69,936
預金 (末残)	82,164	84,346	84,074	86,715	90,484
有価証券 (末残)	18,027	17,038	17,148	17,250	20,150
金融再生法開示債権	3,999	3,150	2,607	2,275	2,152
開示債権比率	5.76%	4.43%	3.64%	3.07%	2.98%

主要経営指標の推移（北陸銀行）

（単位：億円）

	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期
経常収益	1,320	1,301	1,412	1,242	1,137
コア業務粗利益	1,054	1,066	1,052	947	901
経費	508	505	511	513	518
コア業務純益	546	561	541	434	383
有価証券等関係損益	64	6	▲ 7	▲ 126	▲ 24
与信費用	336	225	204	214	134
経常利益	267	381	356	88	199
当期純利益	156	186	212	264	156

自己資本比率	8.86%	9.16%	10.10%	10.23%	10.80%
ROA（コア業務純益ベース）	1.02%	1.05%	0.99%	0.77%	0.68%
OHR（コア業務粗利益ベース）	48.18%	47.37%	48.53%	54.18%	57.48%
貸出金（末残）	41,104	41,467	42,107	42,933	41,426
預金（末残）	48,366	49,174	49,091	50,400	52,445
有価証券（末残）	8,927	8,532	8,209	8,588	10,159
金融再生法開示債権	2,602	2,022	1,635	1,426	1,472
開示債権比率	6.03%	4.65%	3.72%	3.19%	3.42%

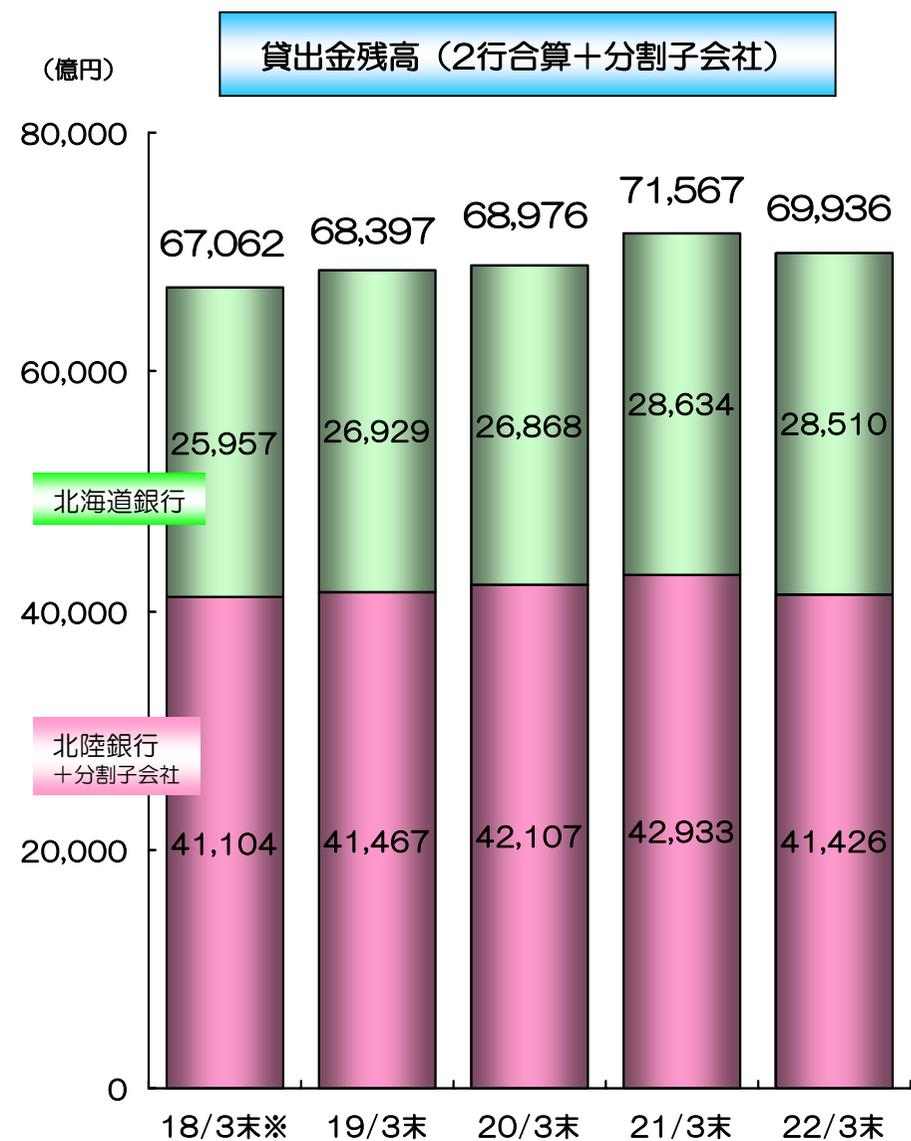
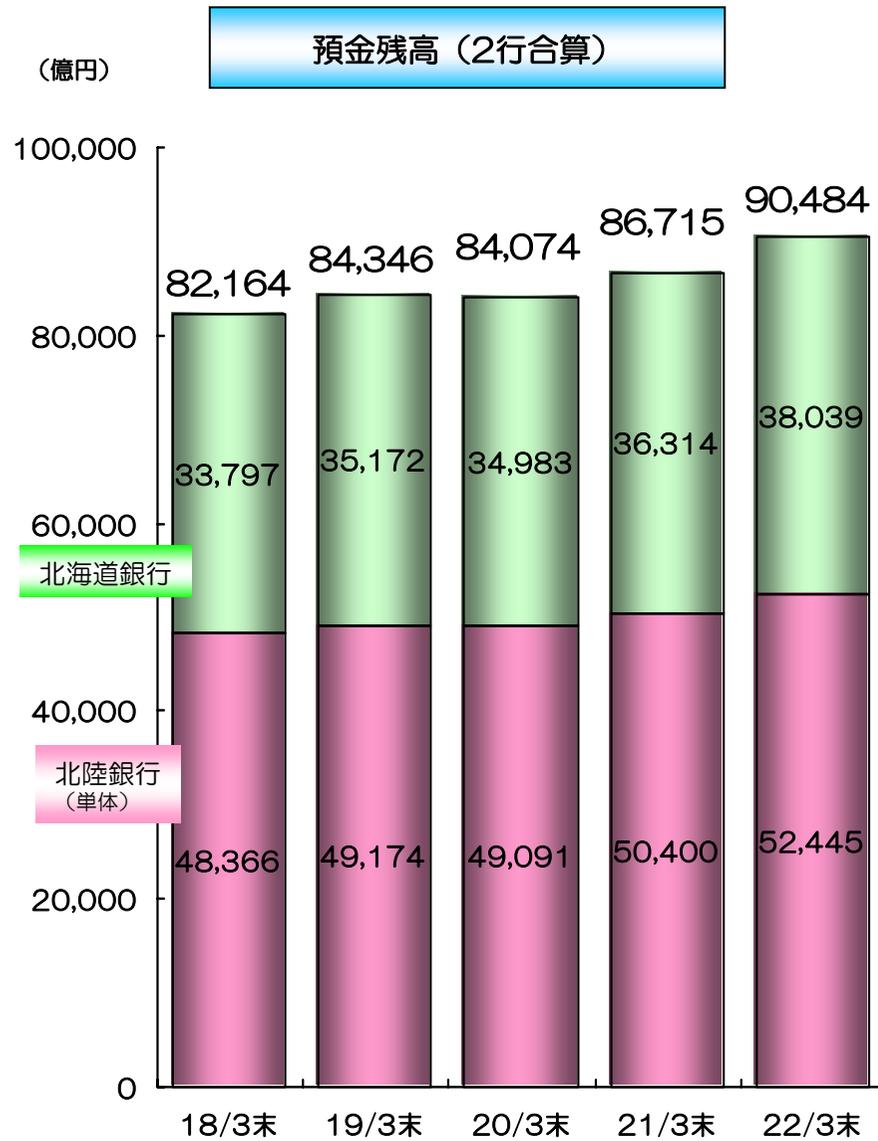
主要経営指標の推移（北海道銀行）

（単位：億円）

	18/3期 通期	19/3期 通期	20/3期 通期	21/3期 通期	22/3期 通期
経常収益	882	884	960	943	937
コア業務粗利益	747	747	732	735	708
経費	377	374	388	402	426
コア業務純益	370	372	344	333	281
有価証券等関係損益	4	▲ 21	1	▲ 49	27
与信費用	129	36	51	140	120
経常利益	238	319	294	125	169
当期純利益	134	207	178	114	103

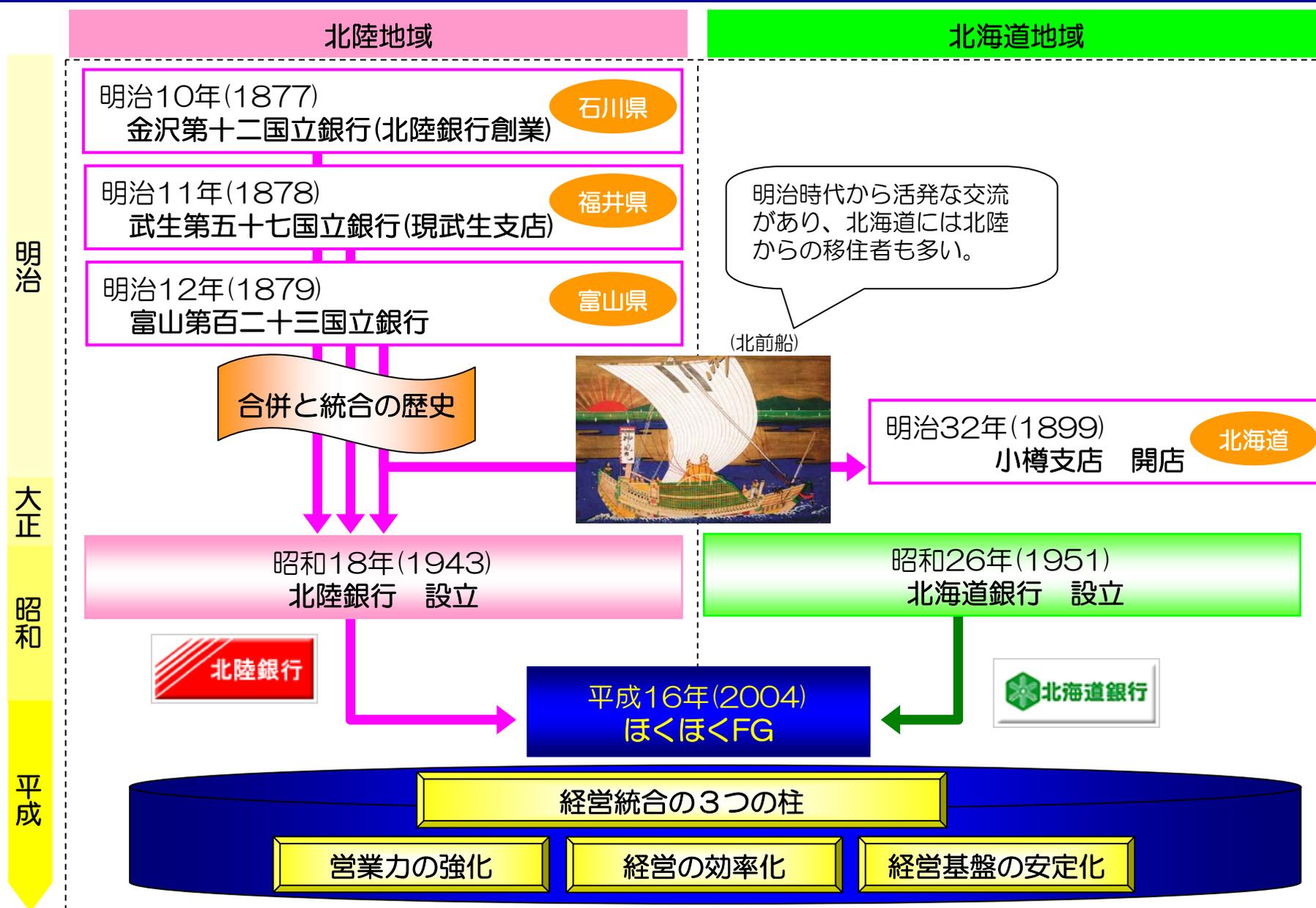
自己資本比率	8.50%	9.91%	10.13%	10.45%	10.19%
ROA（コア業務純益ベース）	1.00%	1.00%	0.90%	0.85%	0.68%
OHR（コア業務粗利益ベース）	50.44%	50.08%	52.98%	54.62%	60.21%
貸出金（未残）	25,957	26,929	26,868	28,634	28,510
預金（未残）	33,797	35,172	34,983	36,314	38,039
有価証券（未残）	9,100	8,506	8,938	8,662	9,991
金融再生法開示債権	1,397	1,128	972	848	679
開示債権比率	5.31%	4.08%	3.52%	2.89%	2.32%

～業績の推移～預金・貸出金



(ご参考) 当社グループ概要

(ご参考) ほくほくFG統合までのあゆみ



(ご参考) ほくほくFGのプロフィール

プロフィール (平成22年3月末)

商号	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
設立	平成15年9月26日
本店所在地	富山県富山市堤町通り1丁目2番26号
資本金	708億9,500万円
発行済株式数	普通株式 1,391,630,146株 第1回第5種優先株式 107,432,000株
総資産	10兆1,072億円 (連結)
預金 (NCD含む)	9兆0,114億円 (連結)
貸出金	6兆9,812億円 (連結)
自己資本比率	10.83% (連結)
格付 (平成22年5月現在)	ほくほくFG A (R&I)、A (JCR) 北陸銀行 A (R&I)、A (JCR) 北海道銀行 A (R&I)、A (JCR)

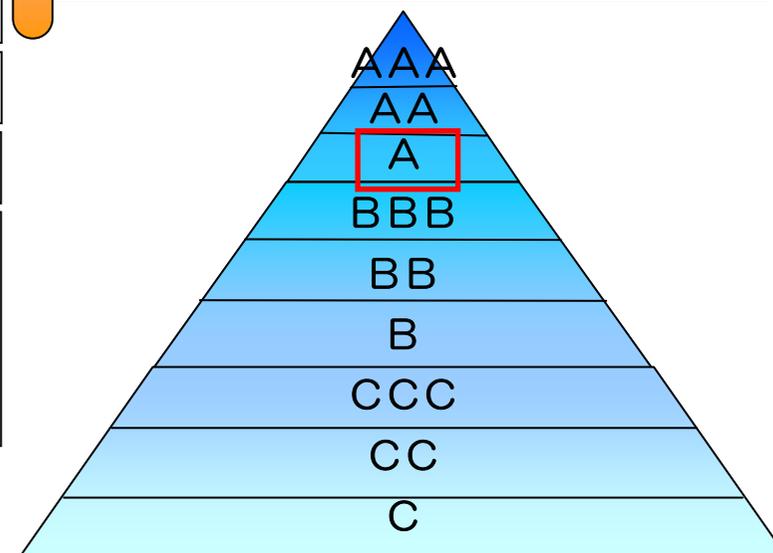
格付け状況

平成19年12月
R&I: BBB+ → A (2段階格上げ) ~北陸銀行

平成20年2月
JCR: BBB+ → A- (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行

平成20年5月
R&I: A ~ほくほくFG、北海道銀行

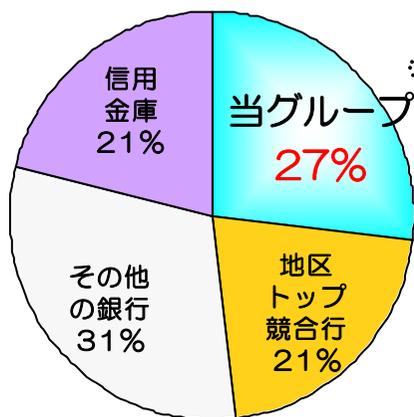
平成22年3月
JCR: A- → A (格上げ)
~ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行



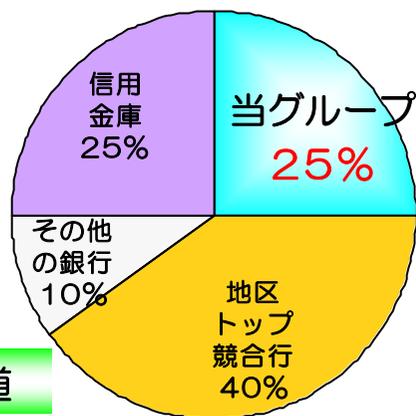
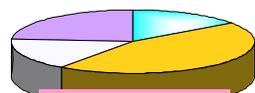
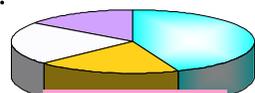
(ご参考) 地域シェア

地域シェア (平成21年9月末)

貸出金

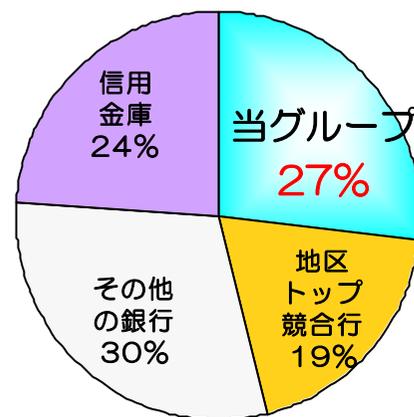


北陸三県

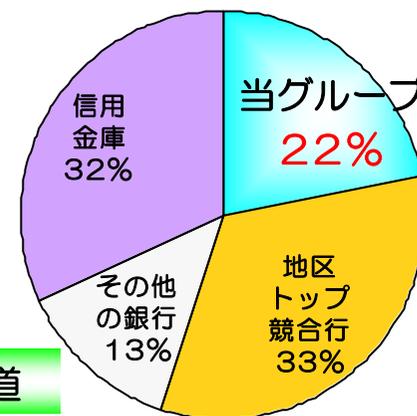
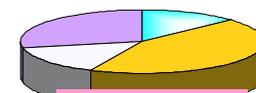
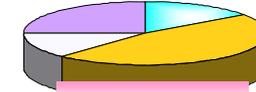
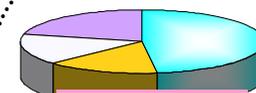


北海道

預金



北陸三県

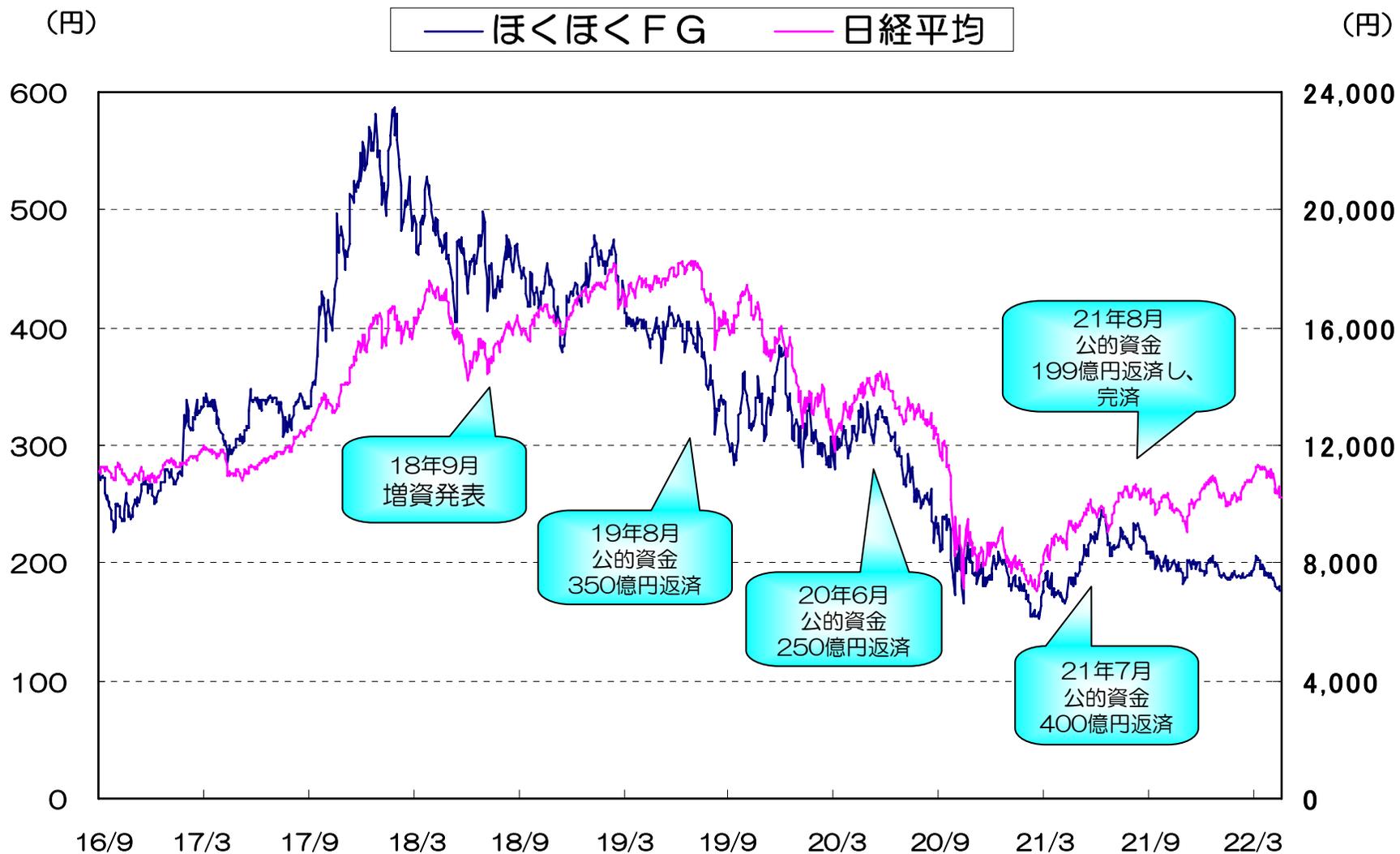


北海道

シェア ⇒ 預金・貸出金ともに、富山県でトップ、北海道、石川県、福井県で第2位。

規模 ⇒ 預金・貸出金ともに、地方銀行では、ふくおかFG、横浜銀行に次ぐ第3位。(平成21年9月末)

(ご参考) 株価推移



本日はご多忙の中、当社説明会にご出席いただきまして、まことにありがとうございました。

本日のご説明ならびに本資料を通じまして、ほくほくフィナンシャルグループに対するご理解の一助としていただければ幸いです。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

取締役社長 高木 繁雄
取締役副社長 堰八 義博

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：丸谷）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。